



機械受注統計調査報告

Machinery Orders

平成 28 年 10 月 実績

October 2016



平成 28 年 12 月

December 2016

内閣府経済社会総合研究所

景気統計部

Department of Business Statistics
Economic and Social Research Institute
Cabinet Office, Government of Japan

目 次

2016（平成28）年10月の機械受注動向	
（1）需要者別受注動向（季節調整値）	1
（2）民需の業種別受注動向（季節調整値）	1
（3）販売額、受注残高、手持月数（季節調整値）	1
〈参考1〉 需要者別の機械受注動向（原数値）	6
〈参考2〉 機種別の受注額、販売額、受注残高（原数値）	6
統 計 表	8

（ 調 査 の 概 要 ）

本調査は、機械等製造業者の受注した設備用機械類について、毎月の受注実績を調査したものであり、調査対象は主要機械等製造業者、調査時点は毎月末日である。

1987（昭和62）年4月実績より、調査対象社数を202社（うち機械製造業者178社）から308社（同280社）に増加させるとともに、調査内容を拡充した280社ベースの調査に移行した。

2011（平成23）年4月調査より、日本標準産業分類の改定（2007（平成19）年11月）に準拠して、需要者（業種）分類を変更した。表章については、2016（平成28）年1月調査より、従来の移行期表章分類から変更後の調査票分類へと移行した（巻末の対照表を参照）。

（ 使 用 上 の 注 意 ）

- 1989（平成元）年4月調査の実績額から、すべて消費税を除くベースで調査している。
- 本調査は、毎年季節調整系列の改訂を行っており、2016年については同年1月調査時に行った。季節調整方法は、X-12-ARIMAの中のX-11を使用している。ただし、主要系列（受注総額、民需、民需（船舶・電力を除く）、製造業、非製造業、非製造業（船舶・電力を除く）、官公需、外需、代理店）については、RegARIMAを利用した季節調整を検討し、適用している（詳細は巻末を参照）。
- 統計表の増加率は比較される二つの計数の増（減）分を前期（前年同期）の計数で機械的に除したものである。
- 「携帯電話」については2005（平成17）年度より調査を行ってきたため、2004（平成16）年度以前については、「携帯電話」を除いた系列を計算することはできない。このため、2011年4月調査以降、本調査は2005年度開始となる。
- 業種分類及び機種分類の定義は、本調査HPを参照。

http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/menu_juchu.html

2016（平成28）年10月の機械受注動向

(1) 需要者別受注動向（季節調整値） [第1表及び第1・2図参照]

最近の機械受注の動向を前月比で見ると、受注総額は、9月0.9%増の後、10月は3.3%増となった。

需要者別にみると、民需は、9月0.7%減の後、10月は1.2%増となった。このうち、民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、9月3.3%減の後、10月は4.1%増となった。内訳をみると製造業が1.4%減、非製造業（船舶・電力を除く）が4.6%増であった。

一方、官公需は、9月10.3%減の後、10月は地方公務、運輸業等で減少したものの、防衛省、国家公務で増加したことから、23.5%増となった。

また、外需は、9月1.4%増の後、10月は航空機、原動機等で減少したものの、電子・通信機械、産業機械等で増加したことから、1.9%増となった。

なお、最終需要者が不明である代理店経由の受注は、9月5.6%増の後、10月は産業機械で増加したものの、道路車両、電子・通信機械等で減少したことから、8.4%減となった。

(2) 民需の業種別受注動向（季節調整値） [第2表参照]

製造業からの受注を前月比で見ると、合計では、9月5.0%減の後、10月は1.4%減となった。

10月の受注を業種別にみると、前月比で増加したのは17業種中、石油製品・石炭製品（333.0%増）、金属製品（59.2%増）等の10業種で、非鉄金属（69.6%減）、電気機械（26.2%減）等の7業種は減少となった。

一方、非製造業からの受注を前月比で見ると、合計では、9月1.4%減の後、10月は6.0%増となった。

10月の受注を業種別にみると、前月比で増加したのは12業種中、電力業（33.0%増）、農林漁業（26.7%増）等の6業種で、不動産業（39.8%減）、運輸業・郵便業（38.2%減）等の6業種は減少となった。

(3) 販売額、受注残高、手持月数（季節調整値） [第3図参照]

10月の販売額は2兆1,383億円（前月比4.1%減）で、前3か月平均販売額は2兆1,423億円（同1.8%減）となり、受注残高は28兆6,749億円（同0.5%減）となった。この結果、手持月数は13.4か月となり、前月差で0.2か月増加した。

第1表 主要需要者別機械受注額

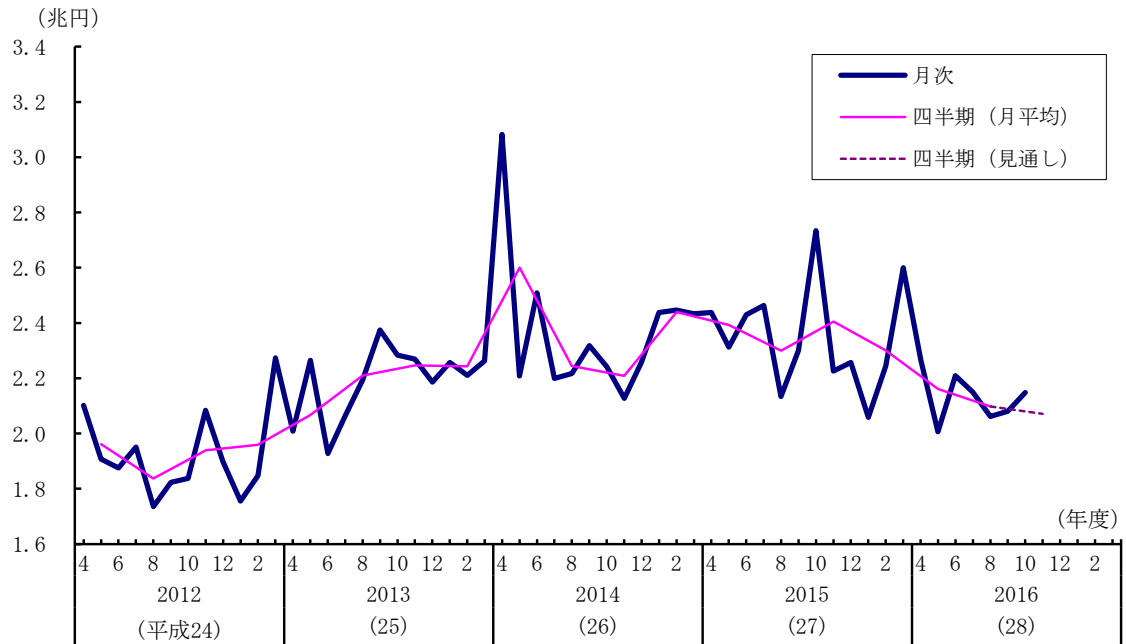
(単位：億円，%)

需要者	期・月						2016年 (平成28年)			
	2015年 (平成27年)	2016年 (平成28年)	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	7月	8月	9月	10月
受注総額	72,164 (4.6) [8.1]	69,021 (-4.4) [-2.5]	64,834 (-6.1) [-9.6]	62,916 (-3.0) [-9.0]	21,489 (-2.8) [-12.8]	20,619 (-4.0) [-4.0]	20,808 (0.9) [-9.3]	21,486 (3.3) [-21.1]		
民需	30,832 (6.3) [6.6]	34,667 (12.4) [4.5]	28,742 (-17.1) [-6.1]	29,347 (2.1) [0.9]	9,838 (-1.2) [-0.3]	9,788 (-0.5) [2.1]	9,721 (-0.7) [0.9]	9,842 (1.2) [-15.8]		
	〃 (船舶・電力を除く)	25,098 (2.6) [2.1]	26,785 (6.7) [3.4]	24,312 (-9.2) [-6.5]	26,080 (7.3) [6.5]	8,919 (4.9) [5.2]	8,725 (-2.2) [11.6]	8,437 (-3.3) [4.3]	8,783 (4.1) [-5.6]	
製造業	10,266 (-3.0) [-3.1]	11,677 (13.7) [4.3]	10,110 (-13.4) [-12.9]	10,563 (4.5) [-0.5]	3,677 (0.3) [-1.4]	3,531 (-4.0) [2.0]	3,355 (-5.0) [-1.5]	3,310 (-1.4) [-9.0]		
	非製造業 (船舶・電力を除く)	14,565 (5.6) [6.3]	15,071 (3.5) [2.6]	14,325 (-5.0) [-1.0]	15,503 (8.2) [11.8]	5,251 (8.6) [11.3]	5,149 (-1.9) [19.6]	5,103 (-0.9) [7.8]	5,336 (4.6) [-3.9]	
官公需	6,563 (-11.1) [-18.4]	7,876 (20.0) [18.6]	6,830 (-13.3) [-14.6]	7,585 (11.0) [-6.4]	2,919 (22.0) [33.6]	2,460 (-15.7) [9.2]	2,206 (-10.3) [-25.2]	2,724 (23.5) [31.2]		
外需	31,946 (9.1) [17.0]	23,439 (-26.6) [-18.8]	24,305 (3.7) [-13.6]	22,836 (-6.0) [-21.7]	7,248 (-11.7) [-32.9]	7,738 (6.8) [-13.9]	7,850 (1.4) [-16.7]	7,998 (1.9) [-35.3]		
代理店	3,349 (3.4) [7.2]	3,559 (6.3) [17.3]	3,255 (-8.5) [6.3]	3,552 (9.1) [10.1]	1,189 (4.1) [17.4]	1,149 (-3.3) [5.7]	1,214 (5.6) [7.6]	1,111 (-8.4) [-0.7]		

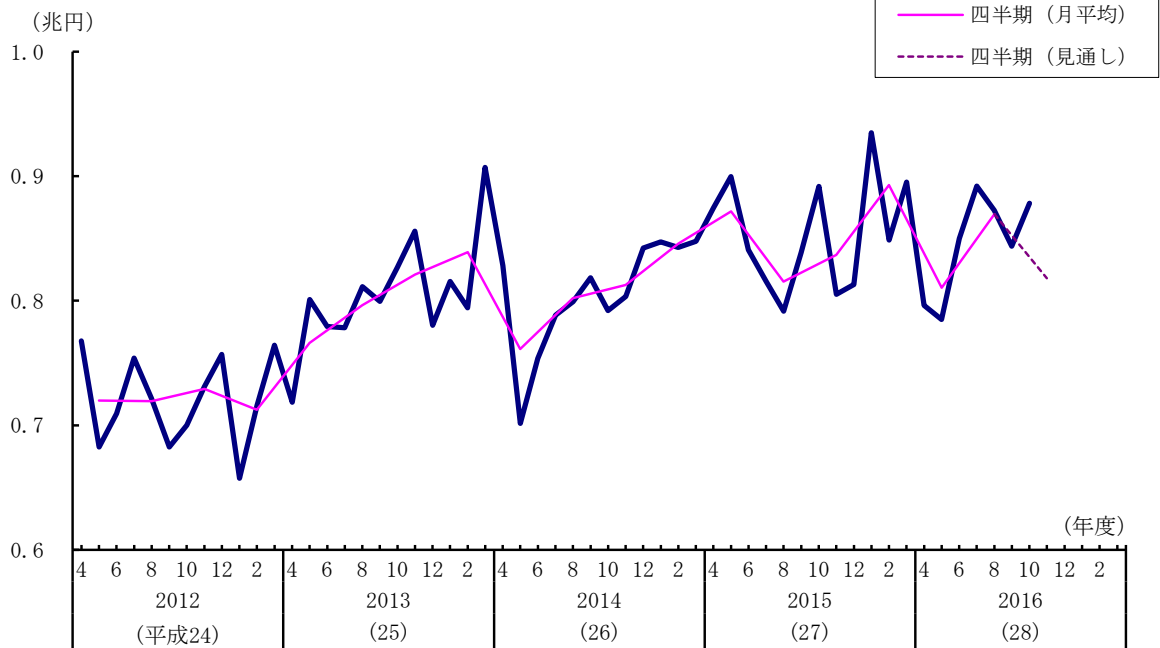
(備考) 1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。

2. 四半期は合計額、()内は対前期(月)増減率、[]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

第1図 機械受注総額



第2図 民需（船舶・電力を除く）



(備考)

1. 四半期 (月平均) は季節調整済みの月平均値を期央月の位置に表示(例えば7～9月の月平均値は8月の位置に表示)。
2. 「2016年10～12月 (見通し)」の計数は、「見通し調査 (2016年9月末時点)」の季節調整値を3で割った数値。

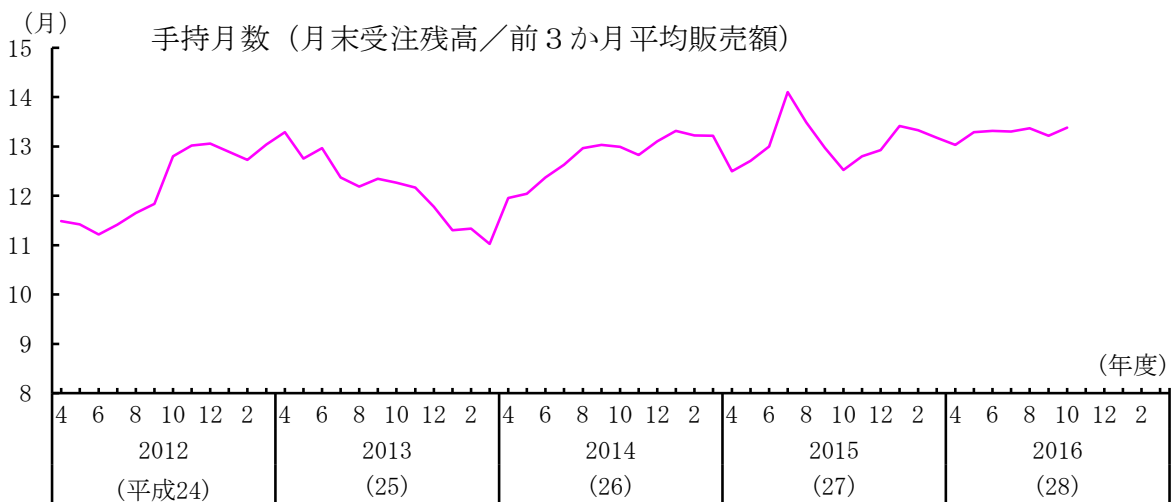
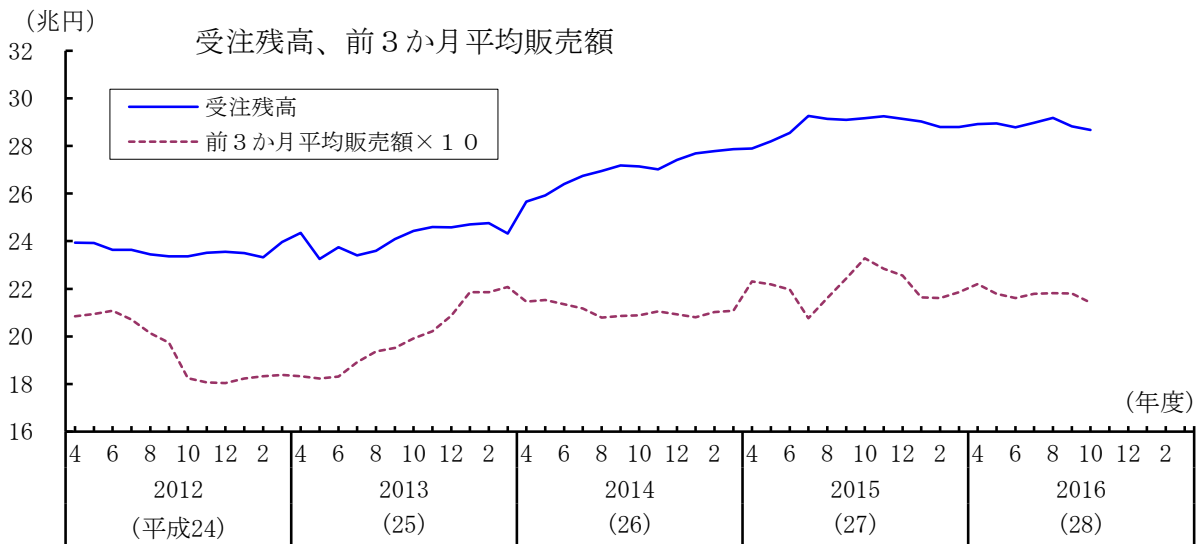
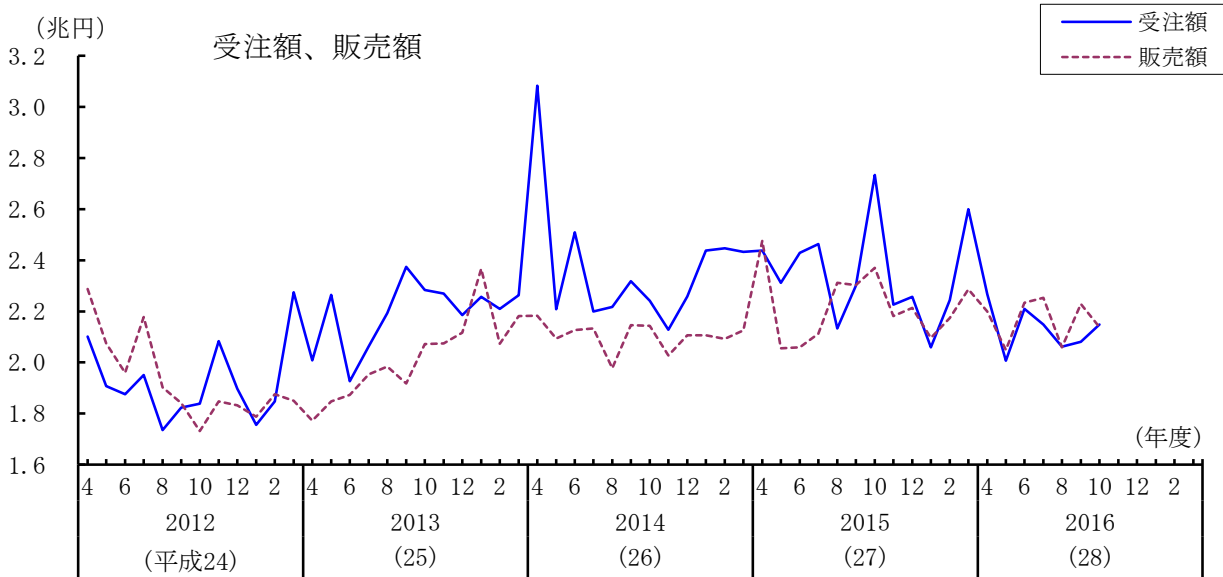
第2表 民需の業種別機械受注の伸び

(単位：%)

需要者	期・月	2015年	2016年			2016年			
		(平成27年) 10～12月	(平成28年) 1～3月	4～6月	7～9月	(平成28年) 7月	8月	9月	10月
I 製造業計		-3.0	13.7	-13.4	4.5	0.3	-4.0	-5.0	-1.4
1 食品製造業		28.5	-9.5	-8.9	7.6	24.5	8.4	-38.6	4.8
2 繊維工業		-26.6	8.8	23.2	-24.1	-40.6	-2.0	-17.5	1.8
3 パルプ・紙・紙加工品		43.0	-13.1	21.7	-28.0	-25.9	-1.3	-18.9	22.8
4 化学工業		1.6	-1.2	-5.3	3.6	23.8	-31.7	-14.9	57.3
5 石油製品・石炭製品		-45.5	56.7	76.3	-47.3	27.3	-15.2	-54.4	333.0
6 窯業・土石製品		7.3	-7.3	3.4	0.2	-30.0	74.9	-46.0	-0.3
7 鉄鋼業		15.7	268.4	-77.0	20.9	75.8	-62.3	18.9	26.6
8 非鉄金属		9.7	76.4	5.2	-21.3	-64.4	2.1	335.5	-69.6
9 金属製品		5.1	0.3	-14.0	48.2	109.3	-52.3	-20.0	59.2
10 はん用・生産用機械		-3.6	-0.7	1.2	4.5	0.7	1.0	1.2	-11.2
11 業務用機械		0.2	-7.3	-0.3	6.8	-4.7	20.2	-6.4	-1.4
12 電気機械		-9.2	-8.7	10.3	2.6	-5.9	6.6	1.8	-26.2
13 情報通信機械		12.8	-11.7	-19.3	1.4	15.4	-1.8	6.6	5.9
14 自動車・同付属品		-4.0	-5.9	1.1	2.6	6.1	3.9	16.1	-0.4
15 造船業		-4.6	34.3	-16.2	-1.2	7.4	-14.1	-27.5	26.6
16 「その他輸送用機械」		3.4	-12.6	86.0	-40.6	-69.3	14.9	-20.4	2.4
17 「その他製造業」		-2.5	-1.7	6.0	6.8	-4.4	26.4	-19.1	-6.5
II 非製造業計		12.0	13.0	-19.7	0.1	-1.8	1.4	-1.4	6.0
18 農林漁業		8.6	-7.1	15.3	-5.6	-3.1	-26.2	17.8	26.7
19 鉱業・採石業・砂利採取業		10.2	-5.2	10.0	-8.6	3.9	-32.5	48.5	8.4
20 建設業		-7.2	3.2	-2.1	3.9	-18.6	11.7	10.9	-15.3
21 電力業		18.5	34.6	-40.0	-32.4	-20.0	21.3	-13.9	33.0
22 運輸業・郵便業		52.9	-17.4	20.0	23.8	-18.0	20.6	6.3	-38.2
23 通信業		8.1	8.4	-18.7	26.8	49.9	-22.7	-7.5	13.4
24 卸売業・小売業		7.7	12.5	-26.1	36.4	6.0	4.9	43.8	-28.8
25 金融業・保険業		-2.7	3.9	-6.7	-7.8	17.7	-12.7	3.7	-17.5
26 不動産業		1.4	27.1	-13.6	-16.6	1.5	-46.3	166.5	-39.8
27 情報サービス業		6.6	15.5	-17.1	2.6	-0.4	12.8	-9.8	9.4
28 リース業		0.6	-5.1	-18.0	38.1	5.3	27.5	-11.1	-17.7
29 「その他非製造業」		3.4	20.4	-18.9	-3.7	-3.7	21.2	-25.4	56.0

- (備考) 1. 季節調整系列の対前期(月)増減率。
 2. 「繊維工業」、「窯業・土石製品」は、従来は「その他製造業」に含まれていた。
 3. 「はん用・生産用機械」は、従来の「一般機械」から「事務・サービス・娯楽用機械」を除いたもの。
 4. 「業務用機械」は、従来の「精密機械」に「一般機械」の「事務・サービス・娯楽用機械」を加えたもの。

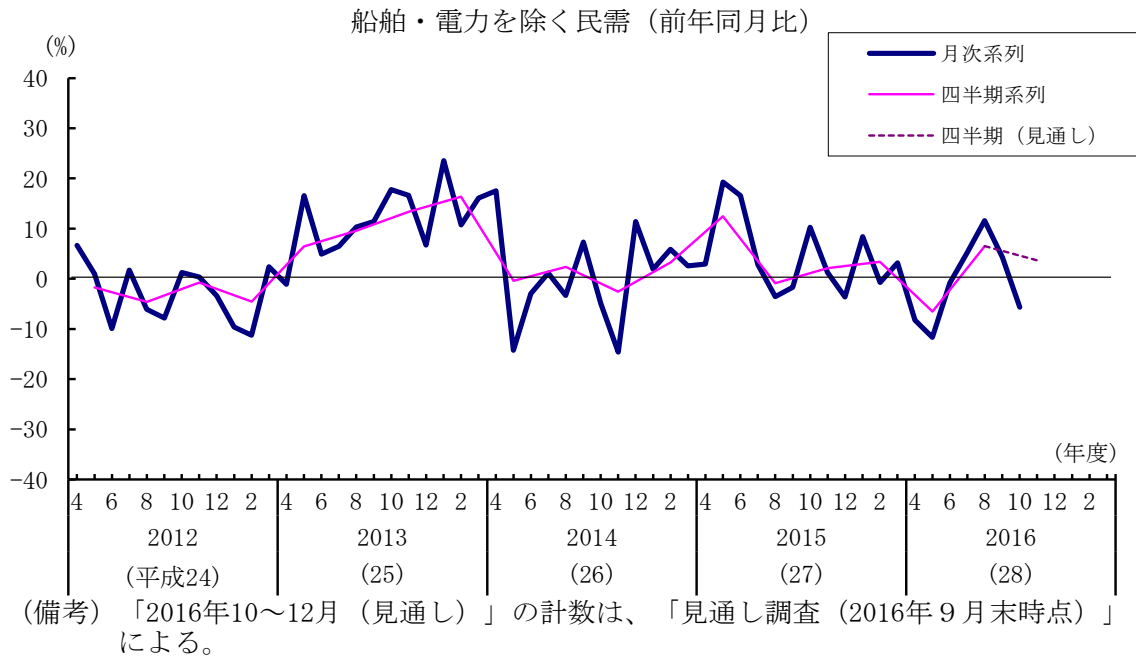
第3図 受注額、販売額、受注残高、手持月数
(総額、季節調整値)



<参考1> 需要者別の機械受注動向（原数値）

10月の受注総額は、1兆8,397億円の前年同月比21.1%減となった。

第4図 機械受注額の動向



需要者別にみると、民需は8,176億円で前年同月比15.8%減（船舶・電力を除くと同5.6%減）、官公需は2,013億円で同31.2%増、外需は7,043億円で同35.3%減、また、代理店は1,164億円で同0.7%減となった。

民需のうち、製造業からの受注は、前年同月比9.0%減となった。これを業種別にみると、前年同月比で増加したのは17業種中、石油製品・石炭製品（525.4%増）、化学工業（67.4%増）等の6業種で、窯業・土石製品（45.3%減）、パルプ・紙・紙加工品（44.1%減）等の11業種は減少となった。

一方、非製造業からの受注は、前年同月比19.3%減となった。これを業種別にみると、前年同月比で増加したのは12業種中、通信業（20.9%増）、卸売業・小売業（13.5%増）等の5業種で、電力業（50.9%減）、運輸業・郵便業（37.7%減）等の7業種は減少となった。

<参考2> 機種別の受注額、販売額、受注残高（原数値）

1. 機種別

(1) 受注額

10月の受注額を機種別に前年同月比で見ると、重電機（9.6%増）、電子・通信機械（6.8%増）で増加となった。反面、船舶（84.8%減）、鉄道車両（56.4%減）等で減少となった。この結果、合計では前年同月比21.1%減となった。

また、民需からの受注額を機種別に前年同月比で見ると、道路車両（53.4%増）、重電機（3.1%増）で増加となった。反面、船舶（82.9%減）、鉄道車両（45.7%減）等で減少となった。この結果、合計では前年同月比15.8%減となった。

第3表 民需の機種別機械受注の伸び

(単位：%)

	2015年 (平成27年) 10～12月	2016年 (平成28年) 1～3月	4～6月	7～9月	2016年 (平成28年) 7月	8月	9月	10月
民 需 総 額	6.6	4.5	-6.1	0.9	-0.3	2.1	0.9	-15.8
原 動 機	1.1	33.8	-21.2	-32.6	-39.8	-34.0	-27.2	-41.3
重 電 機	1.1	-8.1	4.8	-25.7	-24.1	-16.2	-31.3	3.1
電子・通信機械	4.7	-1.0	-12.1	-2.2	0.7	2.4	-6.5	-6.0
産 業 機 械	6.7	-5.8	-5.3	11.0	9.7	7.1	15.4	-4.6
工 作 機 械	-1.7	0.7	-12.9	-14.2	-18.8	-8.9	-13.8	-1.9
鉄 道 車 両	85.9	7.2	113.5	222.0	198.7	288.7	209.7	-45.7
道 路 車 両	-26.1	5.4	6.2	27.7	-5.8	44.1	58.6	53.4
航 空 機	92.3	18.9	105.5	-9.2	32.0	-6.3	-24.8	-35.9
船 舶	23.2	-29.6	-28.1	129.6	45.8	63.4	195.2	-82.9

(2) 販売額

10月の販売額を機種別に前年同月比で見ると、航空機（56.3%増）、電子・通信機械（10.1%増）等で増加となった。反面、鉄道車両（76.4%減）、船舶（35.6%減）等で減少となった。この結果、合計では前年同月比9.4%減となった。

(3) 受注残高

10月の受注残高を機種別に前年同月比で見ると、原動機（4.7%増）、電子・通信機械（4.1%増）等で増加となった。反面、道路車両（18.3%減）、船舶（16.2%減）等で減少となった。この結果、合計では前年同月比1.6%減となった。

2. 鉄構物、軸受、電線・ケーブル

(1) 鉄構物

10月の受注額は、162億円で前年同月比27.5%減、販売額は、189億円で同1.7%増、受注残高は、4,054億円で同4.3%減となった。

(2) 軸受

10月の受注額は、515億円で前年同月比0.5%増、販売額は、515億円で同8.4%減、受注残高は、805億円で同0.0%増となった。

(3) 電線・ケーブル

10月の受注額は、1,029億円で前年同月比6.5%減、販売額は、970億円で同11.2%減、受注残高は、1,049億円で同32.0%増となった。

機 械 受 注 実 績 調 査 統 計 表
目 次

[グ ラ フ]

第 1 図	主要需要者別受注額 -----	9
第 2 図	主要業種別受注額 -----	12
第 3 図	主要機種別受注額 -----	17

[計 数 表]

	需要者別受注額（季節調整系列） -----	18
	機種別受注残高手持月数（ 〃 ） -----	23
	需要者別受注額（原系列） -----	24
	機種別受注額（ 〃 ） -----	29
	機種別販売額（ 〃 ） -----	33
	機種別受注残高（ 〃 ） -----	37
	機械受注統計調査結果表（2016年10月実績） -----	41

(別紙)

	需要者（業種）分類の表章変更 -----	45
--	----------------------	----

(巻末)

	季節調整の検討結果 -----	46
--	-----------------	----